

フォームドアスファルトによる中温化(低炭素)アスファルト混合物

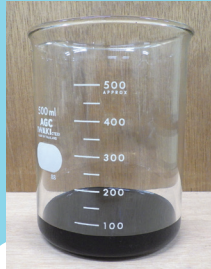
ECOフォームド

CO₂削減、
省エネ、省資源



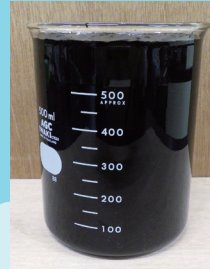
合材工場

アスファルト(発泡前)



水を
噴霧

フォームドアスファルト

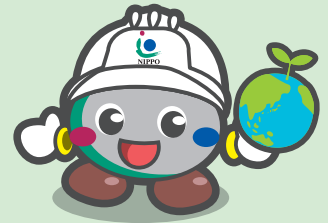


アスファルトがビーカーからあふれんばかりに発泡!



フォームドアスファルトとは…

アスファルト内に少量の水を噴霧して発生させた微細な泡のベアリング効果により、アスファルト混合物の製造温度や施工温度を最大30℃程度下げても品質や施工性が確保できる技術です。



NIPPOマスコットキャラクター
ミッチーくん

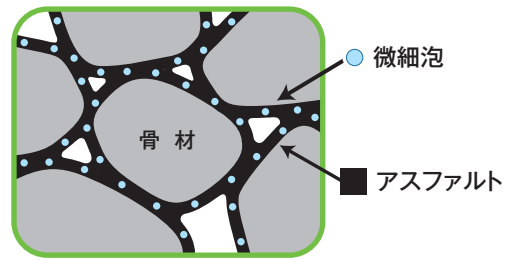
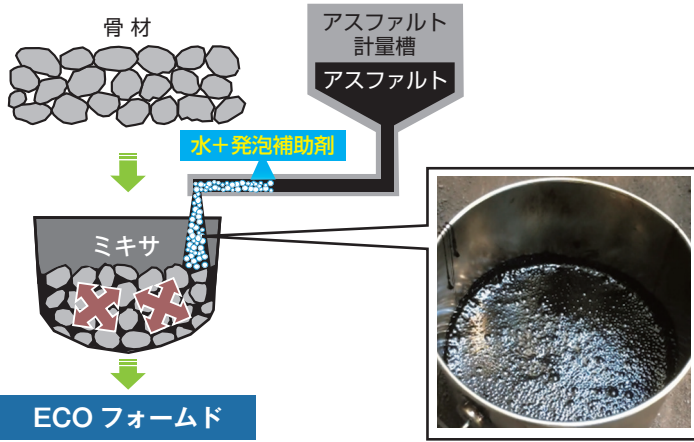
ECOフォームドとは…

フォームドアスファルト技術と発泡補助剤を組み合わせることで発泡性能と発泡の持続性を向上しました。高配合率の再生混合物でも使用することができ、資源のリサイクルや地球温暖化、CO₂削減に貢献する、地球にやさしいアスファルト混合物です。

ご使用頂くメリット(特長)

- 外気温や運搬時間に心配がない時は、製造温度を最大30℃程度下げて出荷可能
 - ・CO₂が約20%削減*でき地球にやさしい(施工業者様もSDGs活動に貢献) *自社実績(製造時の燃料消費量)
 - 製造時の燃料消費量の削減にとともに、CO₂排出量が16~20%程度低減する
 - 骨材等を含めたアスファルト混合物*では全体量の約7%を削減 *混合物の温度によって異なります
 - ・交通開放が早くなる(工事規制時間の短縮、副次的に初期わだちの抑制)
 - ・夏場の施工環境が改善
- 寒冷期や運搬時間が長い時に威力を発揮
 - ・製造温度を通常温度で出荷すると、施工時に30℃低下していても品質と施工性が変わらない

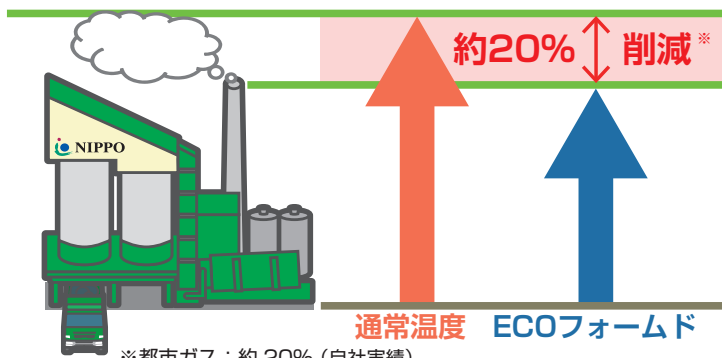
ECOフォームドのしくみ



微細泡がアスファルトの中に多数存在し、温度が下がっても締まりやすい

ECOフォームドの締固め効果と活用方法

材料の加熱に関するCO₂排出量の比較



※都市ガス：約 20% (自社実績)
A 重油：約 16% ((公社)日本道路協会 舗装性能評価法 別冊より)

従来技術 ECOFINE (エコファイン)との違い

これまでのNIPPOの中温化技術：ECOFINEは、製造時に特殊添加剤を投入する労力を必要としていました。

ECOフォームドはフォームド発生装置を含め、全て機械化しており、添加剤の投入労力は不要です。



製造温度	用途	効果
中温化 (温度低減)	燃費向上	・製造時の省エネルギーおよびCO ₂ 排出量の削減
	品質確保	・製造時の温度低下による再生骨材や混合物の劣化を抑制
	環境改善	・夏期の熱中症対策や現場の作業環境改善
	早期交通開放	・工事規制時間の短縮 (工事渋滞の緩和)
通常温度	品質確保	・混合物の温度が低下しても品質 (締固め度、強度) を確保
	施工性改善	・寒冷期における施工性の改善

株式会社 NIPPO

<https://www.nippo-c.co.jp>

本社 東京都中央区京橋1-19-11 ☎ (03) 3563-6711
技術研究所 埼玉県さいたま市西区三橋6-70 ☎ (048) 624-0755
支店
 北海道 ☎ (011) 842-8866 中部 ☎ (052) 211-6581
 東北 ☎ (022) 262-1511 関西 ☎ (06) 6942-6123
 関東第一 ☎ (03) 5323-3681 四国 ☎ (087) 862-1157
 関東第二 ☎ (03) 4582-1061 中国 ☎ (082) 568-6161
 北信越 ☎ (025) 244-9186 九州 ☎ (092) 771-0266
 関東建築 ☎ (03) 4582-1050

お問い合わせは